

### III 一人一人の基礎学力の向上を図る授業づくり

#### 1 数学—習熟度別での基礎の定着を図った授業

##### (1) はじめに

本校では基礎学力向上のために授業の中で習熟度別に分けたT・Tの研究・実践を行ってきた。主にT<sub>1</sub>が一斉授業を進め、T<sub>2</sub>がミニ授業を展開して、時には理解の遅い生徒の思考の援助をしたり、理解の速い生徒には発展的な指導を行い、数学的な考え方の向上を図った。

##### (2) 授業の実際

○单元名 「関数と比例」

○学力向上の手立て

(基礎・基本の定着のための手立て)

- ・生徒が本時の学習内容を理解しながら授業に参加できるように、導入で本時の目標を提示してから授業を行い、授業中に意図的に目標を振り返り、それに近づくようにした。
- ・自分自身の能力に応じて、わかっているところまでフィードバックできるようにミニ授業を展開した。

(個に応じた支援のあり方)

- ・一人一人のつまずきに答えられるように、机間指導を工夫した。
- ・問題作りをとおして一人一人の考えの良さを引き出させた。

(表現力を高めるための手立てのあり方)

- ・発問により、生徒に考えさせる場面を多く設定した。
- ・生徒の発表を多くし、自分自身のことばで筋道を立てて説明できるように工夫した。

##### ○指導過程

段階	学習活動・内容	形態	時間	教師の支援		●評価
				T1	T2	
導入	1 関数についての基本的事項の確認をする。	一斉	10	口頭で1問1答形式で答えさせる。		発表のしかた等の指導にあたる。
	2 ブラックボックスの使い方を知る ・どのような機能を表しているのか考える。	一斉		ブラックボックスについて説明をする。 ・自動販売機 ・比例 ・反比例 ●ブラックボックスの機能を説明することができるか。		ブラックボックスを実際に使ってみせる。 グループに分かれて活動し、発表することを伝える。 (発表)
	3 本時の学習内容を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">関数をつくろう</div>	一斉		yはxの関数の確認をする。		板書して確認しやすいようにする。
展開	4 課題学習(グループ) 自分に合ったコースを選択する。 ☆1教室2分割型 問題作りコース      基礎確認コース <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;">                     問題づくりA 比例 反比例 <math>y = x + 1</math> <math>y = x^2</math> 等 の関係を考えさせる。                 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;">                     ミニ授業 比例についての再確認                 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;">                     問題づくりB 比例・反比例の関係を考えさせる。                 </div> </div>	個別 ↓ 班	20	生徒にコースを選択させる。 比例の対応する数を見つけられれば問題づくりコースを選択させる。  4~6人のグループをつくらせ、ブラックボックスを使った関数の問題を考えさせる。		ホワイトボードを用いて比例の復習をさせる 理解できた生徒は、問題作成のグループに参加させる。  ●対応する2つの数を理解し問題を作ることができるか。(観察) ●友達のが作った問題の、xとyの関係を説明することができるか。(観察)
閉						